

Aqua belle アクアベル (制菌加工)

アクアベルは、一般社団法人繊維評価技術協議会のSEKマーク認証基準に適合し、

制菌加工(赤ラベル)、**制菌加工(橙ラベル)**の認証番号を取得した素材です。

※ 抗菌剤は、IDEATEX JAPAN株式会社の「コーキンマスター™」を使用しています。



コーキンマスター™の主な特徴

1° 抗菌性

抗菌スペクトルが広く、わずかな配合量で効果を発揮します。

2° 実用性

耐性菌がでにくい複合系です。(有機・無機複合体)
水に不溶～難溶のため、環境への安全性に優れています。

3° 安全性

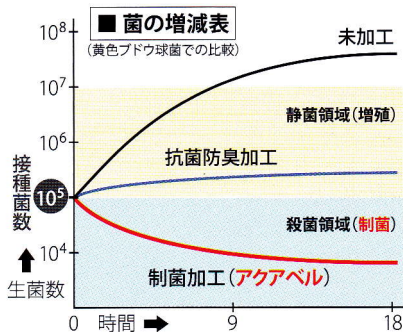
SEK(繊維評価技術協議会)、SIAA(抗菌製品技術協議会)の基準を満たす、高い安全性を備えています。

[SEKマーク対象菌一覧]

菌の種類	制菌加工	
	特定用途	一般用途
SEKマークカラー		
試験対象菌		
黄色ブドウ球菌	●	●
肺炎かん菌	●	●
MRSA	●	—
大腸菌	○	○
緑膿菌	○	○
モラクセラ菌	○	○

●:試験対象必修菌 ○:オプション対象菌

制菌加工と抗菌防臭加工の違い



有効菌数	300種以上 広範囲の細菌やカビ、 藻に効果があります
水溶解性	不溶～難溶
耐熱性	220℃

※ 有効菌数はIDEATEX JAPANの調べ
※ 生後24ヶ月未満の乳幼児製品は除く

制菌加工 VS 抗菌防臭加工

「**制菌**」とは
繊維上の細菌の増殖を抑制すること

「**抗菌**」とは
微生物の増殖を抑制すること

対象菌種が 違います

黄色ブドウ球菌、肺炎の原因の肺炎かん菌、床ずれの原因の緑膿菌、膀胱炎の原因になる大腸菌、院内感染の原因のMRSAが試験対象菌です。

ニキビ等の原因となる黄色ブドウ球菌が試験対象菌です。

菌の増殖の抑制効果が 異なります

菌数は増加してはいけません。しかし、用途によっては同数は認可。

菌数が増加しても良いが、防臭効果を発揮する基準をクリアしなければならない。

制菌性能の 耐久性

特定用途は、洗濯温度80℃で5回の工業洗濯に耐える耐久性が必要。

洗濯温度40℃で、5回の家庭洗濯耐久性が必要。

安全性

安全性に優れた抗菌剤を使用しています。
ノンホルマリンで人に優しい。

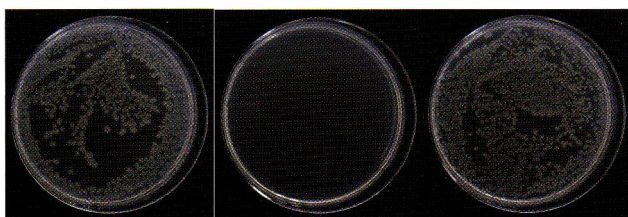
基本はノンホルマリン。

試験結果 (IDEATEX JAPANの調べ)

【抗菌性試験】

繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果・菌液吸収法に準ずる

綿標準白布 **アクアベル** 一般レザー(未加工品)



B菌(18時間培養後)

生菌数		
12,766,667	<200	8,050,000
殺菌活性値		
—	>2.9	-1.7

【防カビ試験】

- ① 寒天培地上で発育させたカビ胞子をろ過し菌糸を除去
- ② カビ胞子数が1~3×10⁶個/mlに調整し懸濁液を作成
- ③ 試験用平板培地上に3cm×3cmの試料を置く
- ④ 胞子懸濁液(カビ20種)を1試料当たり約0.1mlを噴射
- ⑤ 27±1℃の恒温器内で28日間培養

アクアベル



カビの発育がほとんど見られない

一般レザー(未加工品)



カビがかなり発育している